所属： 名前： 　　　　　　　　　2025年11月6日（木）

2025年度「自治体のマーケティング戦略〜地域資源の魅力を海外の視点から考える」

「マーケティング戦略の基本」演習課題

　本研修パートでは、マーケティング戦略策定演習として、実際の地域資源を取り上げ、そのブランド化計画の作成を進めていきます。ここで取り上げる地域資源とは、受講される皆さんそれぞれが関心をお持ちのものとします。そこで、本研修の受講にあたり、事前に、次を行ってください。

**（１）ブランド化対象の地域資源の設定**

　本研修で、ブランド化の対象として取り上げたい地域資源（製品（農水産物、飲食品、加工品など）あるいはサービス（温泉、博物館、行楽地など）をお考えください。業務で扱うものであればより実践的になりますが、必ずしもそうである必要はありません。普段の生活の中で関心を持つようなものでも結構です。

　その際には、その地域資源を管理している組織・団体を明らかにしてください（例えば、JA鳥取の「砂丘らっきょう 」；株式会社さじ弐拾壱の「どんでん返し」（どぶろく）；三朝温泉観光協会の「三朝温泉」；智頭町役場の「智頭森林セラピー」）。

　ここで取り上げる地域資源は、認知度や理解度、購買意図、満足度などが不十分で、そのコンセプト（核となるメッセージや便益）が必ずしも明確に定まっていない、あるいは一貫していないという点で、ブランド化の検討の余地のあるものが望ましくあります。加えてご関心に応じて、外国人観光客などを惹きつける余地についても検討してください。

**（２）資源・環境分析**

　その地域資源について、その資源とその環境を調べ、記述してください。ポイントだけで構いません。ここで資源とは、その地域資源あるいはそれを管理する組織・団体が、持っていて、活用できるようなものです。例えば、開発能力、資産、人材、場所の由来などです。

　環境とは、その地域資源あるいはそれを管理する組織・団体が、持つものではなく、影響を受けるものです。例えば、主要な競合、市場規模・動向、経済状況、顧客の価値観のトレンドなどです。

　調べる際には、その地域資源を検索キーワードとしたオンライン上の各種情報源などを参考にして下さい。また添付は、学生による地域資源のブランド化提案資料です。もちろんここまで細かく調べる必要はありませんが、調べる際のイメージを掴むのに参考にしてください。

　研修時の演習の際に必要となりますので、この用紙に各自が記述したものを持参して下さい。

|  |
| --- |
| ブランド化対象の地域資源・その管理組織： |
| 資源分析： |
| 環境分析： |